

ミックス・ライト MS825

クレーン用無線通信システム のご提案

《1mW陸上移動通信システム型》

《最大5人同時通話可能システム型》

免許不要

はじめに

この度はクレーン工事用無線通信システム (1mW陸上移動通信システム)のご提案機会を賜り、誠に厚く御礼申し上げます。

さて、この度ご提案申し上げますクレーン工事用無線通信システム (1mW陸上移動無線通信システム)は、クレーン工事に関する様々な場面でご利用いただける多者間同時通話型の無線通信システムです。

工事車両 (高所作業車)に親機を配置し、現場で活動する作業員様どうし2名～5名が同時に会議通話 (複数人数同時通話)を行うことができ、なおかつハンズフリーでのご使用が可能な同時通話型無線通信システムです。

高所作業車を利用した工事の作業連絡に、最適な無線システムと考えております。

是非この機会に無線システム導入のご検討を頂きますようお願い申し上げます。

平成13年7月吉日

作業用1mW陸上移動無線通信システム

作業用1mW陸上移動無線通信システムは、平成13年2月22日以前は無線局設備として一般業務用無線局として扱われ、簡単な手続きのみですが免許の申請が必要でした。しかし同2月23日に改正省令が施行され、申請が必要のない特定小電力として扱われることになりました。

背景

平成4年微弱無線に変わる無線設備として一般化する。

非常に微弱な電波による無線設備であること。

規制緩和により、免許の義務づけがなくなった。

平成13年

無免許

作業用1mW陸上移動無線通信システム

<仕 様 >

・免許	免許不要。
・周波数	400MHz 帯
・出力	最大 1mW
・無線局	特定小電力無線設備
・構成	2人から最大 5人までの同時通話が可能。

《この様な活用が可能です。》

- ・ 工事車両 (高所作業車) と工事作業者 2名 ~ 5名での複数人数同時通話 (会議通話) を行うことが可能です。
- ・ 工事現場で必要な業務連絡 (高所作業車の移動や操作、部材供給) などをスムーズに行うことが可能です。
- ・ 子機 (HX833) は、最大3システム分をメモリーすることができるため、作業する人数や車両数に応じて子機の台数を変えることができます。

作業用1mW陸上移動無線通信システム

< 概要 >

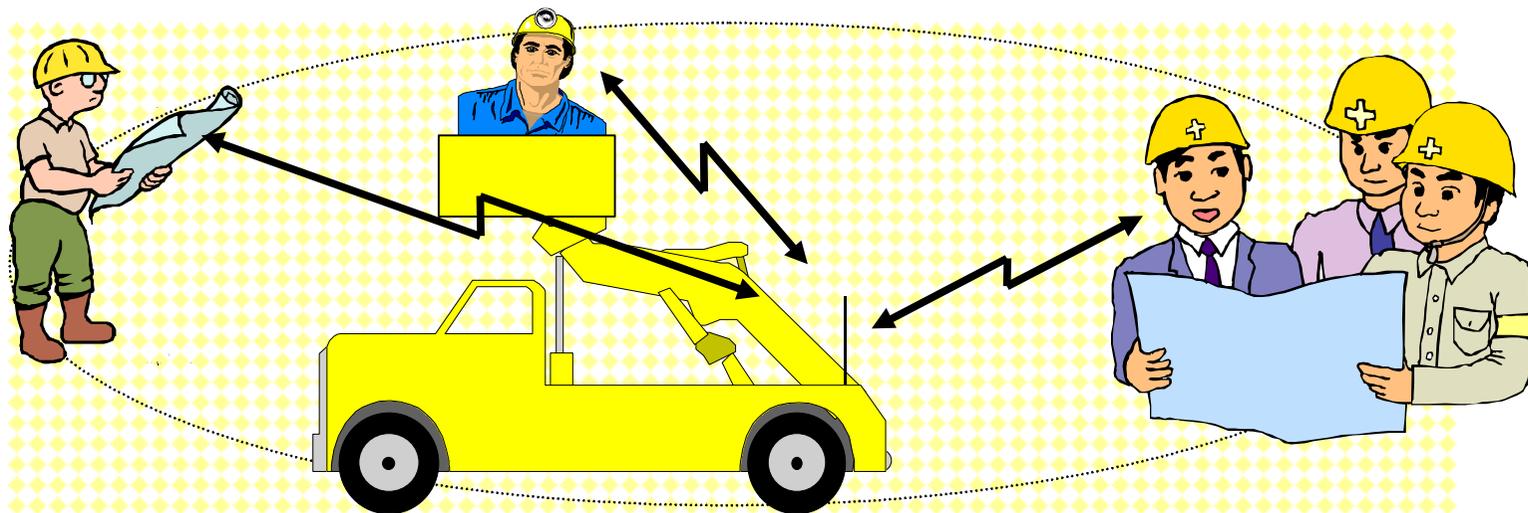
・基地局 (親機) と移動局 (子機) によって構成。

・基地局は中継局機能を有し 各移動局 (子機) 一斉指令を出すことが可能。

・最大5人での同時通話 (会議通話) をすることが可能。

・通信エリアは、おおむねアンテナ部より半径150～200m。

通信エリアは200m



作業用1mW陸上移動無線通信システム

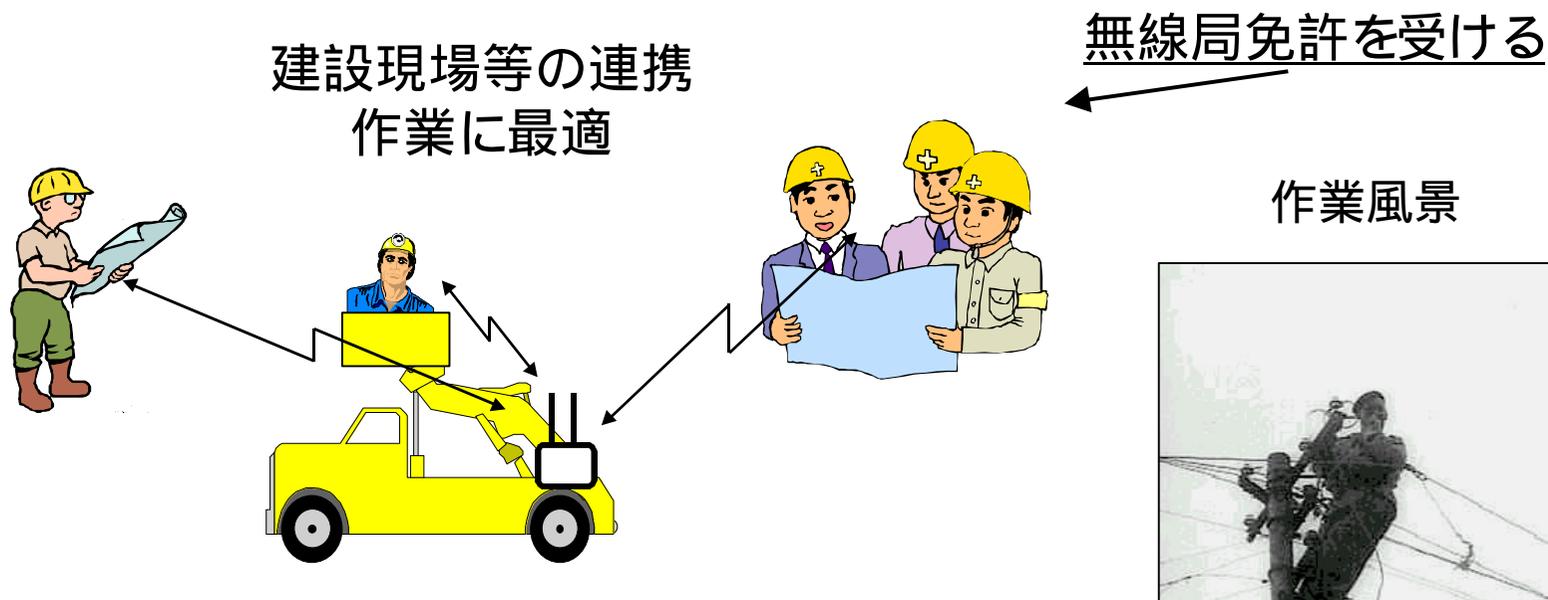
< 運用形態 >

・免許取得の必要がなくなりました。

(管轄の電気通信監理局への届出はいりません。)

・基地局 (親機) を工事作業車輻に取りつけますので作業車輻から半径約200m以内での運用が可能です。

・最大5人までの同時通話 (会議通話) が可能です。



システムの主な機能

作業用無線通信システムは、親機 (中継装置) と子機 (携帯端末) によって構成され、最大 5 人での同時通話 (会議通話) が出来、子機は親機を介して通信を行うため、1mW という非常に小さい電力ながら広い通信エリアを確保し、明瞭でクリアーな通信を実現することが可能です。

1. 通信方式は、親機を介しての同時通話方式で、最大 5 人での会話 (会議通話) をすることが出来ます。
2. 通話可能エリアは、地形や建物の構造等に影響しますがおおむね親機を中心として、おおよそ半径 150 ~ 200m 前後となります。

システムの特長

特長 1 複数人数で高品質な同時通話が可能

- ~ 2人から最大5人までの同時通話（会議通話）が親機を介して非常に高音質での通話を行うことができます。

特長 2 屋外業務を考慮した高耐久、高信頼構造

- ~ 親機（RP825）は電源電圧24V供給可能であり
子機（HX833）はアルミダイキャストシャーシを採用でJIS防滴 型を取得。

特長 3 電波効率の良いアンテナ分離構造

- ~ 親機（RP825）はアンテナ部が本体とは分離するため。
車両の外部に取り付け可能です。

システムの特長

特長 4 ハンズフリーでの運用が可能

- ～ ヘッドセットをはじめとするハンズフリー用オプションのラインナップが非常に豊富に揃っています。

特長 5 豊富なオプション設定

- ～ ニッカドバッテリーや6連式充電器、レザーケースなどさまざまなオプションを豊富に用意しています。

特長 6 作業連絡用の専用周波数を使用

- ～ 作業連絡用の専用周波数帯を使用していますので、他の種類の無線設備との併用による混信等はありません。